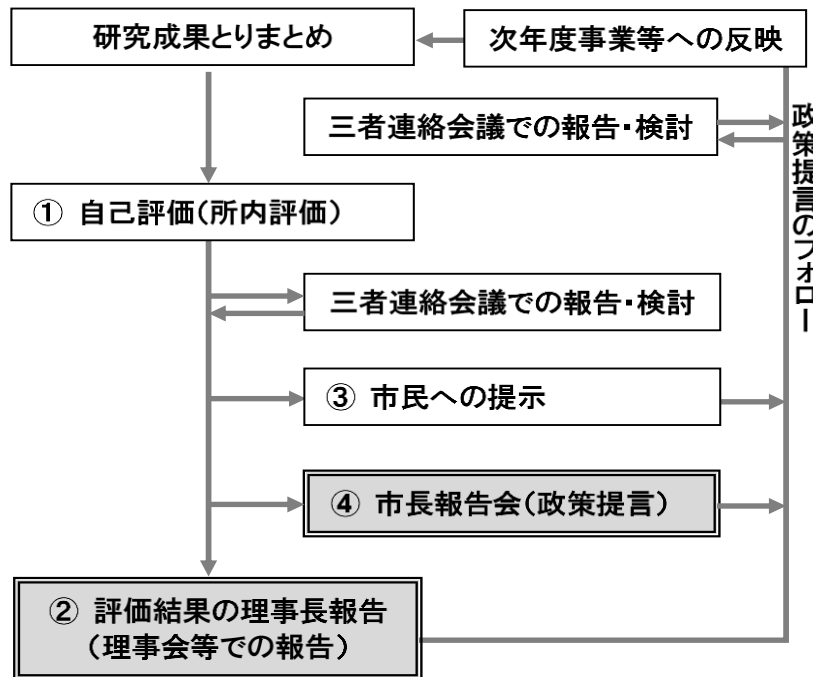


# 令和元年度研究成果の評価について

## 1 中期ビジョンにおける評価の仕組み

### (1) 評価のプロセス



### (2) 評価指標

研究所の役割	評価指標
広義の都市交通の研究	1) 外部学会誌・論文集等で発表した査読付き論文数
	2) 上記を除くその他学会・協会等で発表した論文数
	3) 論文賞等の受賞
	4) 競争的研究資金の獲得件数
交通まちづくりの推進	5) 市への政策提案件数
	6) 豊田市はじめ行政等からの受託研究の受注件数(金額)
	7) 地域に関わる研究テーマの件数
	8) 地域活動への貢献(委員・講師等)
世界への情報発信と貢献	9) 国際会議での論文発表件数
	10) 国際セミナー・シンポジウムの開催
	11) 国際的な調査プロジェクトの実施
	12) 機関紙・年報の定期発行
	13) シンポジウム・報告発表会・講習会・セミナー等の開催数, イベント出展数
	14) 各種行事記録集の発行: 種類
	15) マスコミの露出度: 報道・出演回数

## 2 評価指標を用いた試行評価の結果

### (1) 定量的な指標による結果

役割	評価指標	H28-9年度 平均	H30年度	令和元年度
① 広義の都市 交通の研究	1) 外部学会誌・論文集等で発表した査読付き論文数	1.8	16	23↑
	2) 上記を除くその他学会・協会等で発表した論文数	17.5	27	19↓
	3) 論文賞等の受賞	0.5	1	1→
	4) 競争的研究資金の獲得件数〔科研費〕	1	2	2→
	競争的研究資金の獲得件数〔その他〕	2.5	4	4→
② 交通まちづ くりの推進	5) 市（地域）への政策提案件数	7.5	12	11↓
	6) 受託研究の受注件数（件）	14.5	25	19↓
	7) 地域に関わる研究テーマの件数	15	35	26↓
	8) 地域活動への貢献〔委員・大学等講師〕 〔講演〕	40.5 23	37 34	36↓ 34→
③ 世界への情 報発信と貢献	9) 国際会議での論文発表件数	13.5	15	16↑
	10) 国際セミナー・シンポジウムの開催	0	1	0↓
	11) 国際的な調査プロジェクトの実施	0.5	0	1↑
	12) 機関紙・年報の定期発行	5	5	5→
	13) シンポジウム・報告発表会・講習会・セミナー 等の開催回数，イベント出展	13.5	15	16↑
	14) 各種行事記録集の発行：種類	1.5	2	3↑
	15) マスコミの露出度：報道・出演回数	9	9	5↓

赤：増大、緑：横ばい、水色：前年比で低下したがH28-9年度の平均値より増大か横ばい、灰：減少

## (2) 総括

- 総括1：令和元年度では、本格的な市長への政策提言会を開催することができ、新中期ビジョンの目玉の一つである政策提言を新しい形でスタートさせることができた。
- 総括2：年度当初から、研究員の退職や年度内人員補充の遅れによって、実質85%の戦力であったにも関わらず、概ね満足できる成果を打ち出すことができた。
- 総括3：過去と比較して、確実に伸びたのは1) 査読付き論文数、11) 国際的な調査プロジェクトの実施、13) 発表会やセミナーの開催数である。1) については、昨年度の総括評価で課題に挙げた量より質を重視した成果である。11) に関しては、初めて日本学術振興会（JSPS）の外国人研究者招へい支援を獲得でき、全国規模の研究機関においても難度の高い挑戦に成功した。13) はより地域密着型の出前講座のような地域セミナーの開催が功を奏した。
- 総括4：横ばいになっている指標に表される内容は、3) 論文賞の受賞、4) 科研費等競争型資金の獲得、9) 国際会議での論文発表及び8) 外部講演等で、元々高いレベルにあるものがほとんどであり、前年度水準を維持できたことが十分に評価に値することである。
- 総括5：役割の「②交通まちづくりの推進」に関わる複数ある指標で前年比が低下したものの、ほぼ横ばいや2年前に比較して増加した内容である。最も戦力に比例する指標のため15%の戦力ダウンの中でのアウトプットであることを考慮すると、実質伸びたに相当すると考える。
- 総括6：課題として考えるべきものは15) マスコミ等の露出で代表される一般社会における認知かもしれない。今後、この課題に関連して、政策提案重視や地に足のついた地域性とのバランスを検討しながら、最善な一般社会での認知度向上を目指していきたい。

まとめとして、新中期ビジョンの2か年度目として、「暮らしを支える交通」と「都市空間を創出する交通」の二つの方向性において、「交通の安全・安心」という当面の重点課題に対応した取り組みが概ねでき、改善し続ける軌道に乗せ、順調に展開されていると評価する。